



第6章

林木育種事業・研究の推進と普及



6-1 専門分野を活かした社会貢献

久保田権¹・坂本庄生²・千葉信隆³・柏木学⁴・竹田宣明⁵

1: 林木育種センター育種部、2: 北海道育種場、3: 東北育種場、4: 関西育種場、5: 九州育種場

林木育種センターが開発した品種の利用を促進するため、都道府県等に対し、つぎ木増殖、採種(穂)園の造成・改良・管理、着花促進等について技術講習会を開催するとともに、各種協議会等における指導を行いました。本中期計画期間では、講習会を合計100回以上開催し目標を達成しました。また、研究・技術開発推進ブロック会議育種分科会や特定母樹等普及促進会議を通じて、林木育種関連技術を活かした社会貢献に努めています。

1

北海道育種場

特定母樹グイマツのつぎ木増殖技術

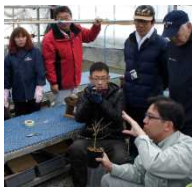


写真1 穂を接ぐ位置を説明

北海道内にある国・民有林採種園は設定後50年以上経過していることからその再整備が必要となっています。一方、グイマツ雑種F₁の「クリーンラーチ」は需要が多く見込まれ、その種子親である「グイマツ中標津5号」が特定母樹に指定されました。このため、特定母樹による採種園再整備や造成に向けたつぎ木増殖技術について講習会を開催しました。

4

関西育種場

マツノザイセンチュウ接種検定の技術



写真4 マツノザイセンチュウ接種実演の様子

マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ、アカマツの品種開発には、センチュウの取扱いや接種検定の技術は不可欠なものとなっています。このため、接種技術水準の維持などを目的として、「マツノザイセンチュウ接種法」の講習会を毎年開催しており、各機関から新任の林木育種担当者などが多数参加しています。

2

東北育種場

抵抗性クロマツのさし木技術開発



写真2 さし木苗発根の様子

さし木による抵抗性クロマツの増殖は、温暖地で先行して取り組まれてきました。東北では寒冷な地方に適したさし木技術の開発を目指して、県への講習指導に取り組んでいます。この成果のひとつとして、東日本大震災で甚大な被害を受けた海岸防災林を再生するために、抵抗性クロマツさし木苗の大量生産が進められています。

5

九州育種場

さし木苗確保のためのスギ採穂園の管理技術



写真5 採穂木の樹形誘導講習

主伐の増加に伴い、造林用スギさし木苗の確保が重要な課題となっています。このため、各県からの要請に応じて、スギ採穂園の管理や採穂木の樹形誘導等についての講習会を開催しました。

3

林木育種センター

カラマツの着花促進技術



写真3 環状剥皮後の様子

カラマツ材の需要の高まりによる種子、苗木の確保に対応するため、高木になった採種園を利用する講習会を国有林と連携して実施しました。

陽光不足で採種木の下枝が枯れてしまった場合、受光伐を行う前に環状剥皮により着花促進をすることで、球果採取が効率的に行えることを説明し、剥皮の実演後、参加者全員が40本のカラマツで実技を行いました。

6

各種会議等



写真6 ブロック会議育種分科会の様子

林木育種推進地区協議会(H23)及び研究・技術開発推進ブロック会議育種分科会(H24~26)

林野庁主催で育種事業の推進のため、各育種基本区ごとに開催しています。林野庁、林木育種センター、都道府県等が参加しています。

高速育種運営会議(H25、26)及び特定母樹等普及促進会議(H27) エリートツリーや特定母樹の普及のため、林木育種センター主催で各育種基本区ごとに開催しています。

6-2 成果の発信

安樂勝彦¹・辻祐司¹・藤田彰宏¹・沖義裕¹・増山真美¹・天野里美¹・上田雄介²・黒沼幸樹³・林勝洋⁴・原田美千子⁵

1: 林木育種センター、2: 北海道育種場 3: 東北育種場 4: 関西育種場 5: 九州育種場

林木育種センターでは、研究及び事業の成果を、林木育種情報等の刊行物として発行するとともに、ホームページ上で積極的に公表しています。重要な成果については積極的なプレスリリースを実施するなど効果的な広報活動を行っています。新品種等の普及については、利用者である種苗生産者、森林所有者等にまで情報が伝わるよう、林業関連団体の機関誌への記事掲載や、広報誌の配布に取り組んでいます。

1

研究・事業の発表会

林木育種成果発表会（年1回）



写真1 平成25年度林木育種成果発表会の様子

林野庁及び都道府県の林務行政担当者をはじめ、中央団体関係者及び民間企業、学識経験者の方々に毎年テーマを決めて林木育種の成果を紹介しています。また大学や都道府県の方々に講師として特別講演と特別報告を頂いています。

テーマ

- | | |
|--------|------------------------------|
| 2011年度 | エリートツリーと造林初期投資の軽減 |
| 2012年度 | 林木育種がつむぐ森林の未来 |
| 2013年度 | 新たな森林・林業と林木育種－エリートツリーの開発と普及－ |
| 2014年度 | 国民の多様なニーズに応えるために林木育種ができること |

林木育種開発品種説明会（2014年3月）



林木育種開発品種説明会のパンフレット

特定母樹や開発品種の普及を進めるため、新たに、苗木の生産者や、森林所有者などの山行き苗の利用者に、開発品種の成長や形質の特性等を説明しました。

年報（年1回）HPへ掲載



林木育種センターの現況、林木の育種事業、種苗の生産・配布、調査・研究、講習・指導、その他（関係機関との連携、行政・学会等への協力、広報・普及活動等）について、単年度の成果・実績を掲載しています。

一般公開



写真2 林木育種センターで行われた親林の集いの様子

一般の方に林木育種への興味と理解をもってもらうとともに、木工工作等を通じて樹木とふれあうイベントを開催しています。

各育種場の広報誌



野幌の丘から
(年2回) 発行



東北の林木育種
(年3回) 発行



関西育種場だより
(年3回) 発行



九州育種場だより
(年2回) 発行

ホームページ（随時更新）

年報、技術情報紙、広報紙等の内容及びその他の一般的な情報を掲載しています。林木育種センターと各育種場のホームページは以下の通りです。

- 林木育種センター
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/>
- 北海道育種場
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/hokuiku/index.html>
- 東北育種場
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/touiku/index.html>
- 関西育種場
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/kaniku/index.html>
- 九州育種場
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/kyuiku/index.html>

プレスリリース

林木育種センターでは、開発した技術や研究成果、育種事業を国民に知ってもらうと同時に、育種事業や技術が正しく社会に受け止められるよう、マスコミを通じて積極的にプレスリリースしています。

2

広報

林木育種情報（年3回）発行



林木育種に関する調査・研究、技術開発等の技術情報、林木遺伝資源の収集・保存事業及び林木遺伝資源の収集、分類・同定、保存、特性評価技術等に関する情報、海外協力のための林木育種技術等に関する情報、林木育種及びセンターの活動等に関する一般的な情報を紹介しています。